

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1094	分館運営管理経費	01	01	一般会計
基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる	10	10	教育費
			05	05	社会教育費
			06	06	分館費
担当部課名		中央公民館	101	101	分館運営管理経費
作成者氏名	奥井平和	連絡先	22-9801	01	分館運営管理経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	19分館施設(19分館の公民館職員)の運営	公民館運営手法の研究を行い、公民館利用者に反映させる。
本年度事業内容	月刊誌購入	
開始年度	平成 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等	伊賀市公民館条例・伊賀市地区公民館分館規則	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.15	0.15	0.15
人件費合計(A)	1,080	1,080	1,080
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	128	128	128
委託料			
消耗品費	128	128	128
その他			
合計(A+B)	1,208	1,208	1,208
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,208	1,208	1,208
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
設置分館数	館	19	19	20			
書籍配布数	冊	19	19	19			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
公民館まつりの開催回数(※隔年実施)	運営資料や情報提供することで、新しい館運営手法が生まれ、分館の活性化につながる(合同の発表会開催)	回	1 目標 (1)	0	1
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

生涯学習としての公民館活動は市民の学習意欲が広がり、各分館での活動へと活動の範囲が拡大している。これらの活動を支援し、新しい取り組みの新手法や、ヒントを学ぶために資料の提供をすすめている。

評価	必要性	3	公民館並びに分館における生涯学習活動が盛んになっている。 引き続き市民の生涯学習活動が各施設で継続、推進できるよう公民館活動の指導や育成に努める。	総合評価
	有効性	3		C
	達成度	3		
	効率性	3		